

子どもも 鳥取県政 1300年

小中学生向けに鳥取県の取り組みを紹介しています。



大山ってどんな山?

大山は高さ1,729メートルで、中国地方で一番高い山です。

緑が豊かな山で、中腹には西日本で一番の広さのブナ林が広がり、そのブナ林がきれいな水を作り出しています。また、山頂の近くにはダイセンキャラボクがたくさん生えており、国の特別天然記念物に指定されています。

6月からの夏の季節には、県内外から多くの人々が登山に訪れます。秋は紅葉で赤や黄色に染まった山を見ることができ、冬はたくさんの雪が積もって真っ白になった山でスキーやスノーボードなどを楽しめます。



伯耆国「大山開山1300年祭」

平成30(2018)年、大山は開山1300年を迎えます!



「大山開山1300年」とは?

かつて大山は一般の人が入ることができない神聖な場所とされていました。その大山に「大山寺」が開かれたのが養老2(718)年。今年はそのそれからちょうど1300年です。



大山寺の歴史 ~大山寺を開いた金蓮~

奈良時代の養老2(718)年に、出雲国(今の島根県)の依道という人が、金色のオオカミを追いかけて大山に入りました。

オオカミを矢で仕留めようとする、矢の前に地藏菩薩が現れたため、依道は弓矢を捨てました。オオカミはいつの間にか尼になって話しかけました。

この出来事の後、依道は仏の道に入り修行をして、大山にお地藏様をまつり、「金蓮」と名乗りました。その後、大山寺を開いたと伝えられています。(参考:大山寺縁起)



シンボルマークのひみつ

シンボルマークは「1300」の文字を横に倒した形を「海の水」「大山」「月」「太陽」に見立てて作られていて、自然あふれる大山を表現しています。



大山のいろいろな魅力を体験できるイベントを、5~11月に大山や県の中・西部で開催します。詳しい情報はホームページでお知らせしていきます。<http://www.daisen1300.org/>

昔からの行事を見よう



御輿行列



大山の大献灯



たいまつ行列

自然を楽しもう



ブナ林の中を散策



大山・中海エリアでサイクリング

山の恵み・歴史を感じよう



謎解き宝探し

「星」を見よう



大山の星空

料理を味わおう



大山おこわ・そば



大山開山1300年祭 記念料理

お問い合わせ先 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会 【電話】0859-31-9371 【FAX】0859-31-9368
公式ホームページ <http://www.daisen1300.org/> 大山開山1300年 検索